

平成30年度 学校評価報告

草加市立八幡北小学校

(平成31年2月8日作成)

1 学校教育目標	
なかよく (徳) (おもいやりいっぱい)	共に遊び
かしこく (知) (知恵いっぱい)	共に学び
たくましく (体) (元気いっぱい)	共に鍛える
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
(1) 自ら学ぶ力を育てる ①学習規律の徹底と学習指導の充実 ②国語教育の充実	成果 ○基礎学力の一定の定着 ○国語科研修の充実
(2) 豊かな人間性を養う ①道徳教育の充実 ②人権教育の充実 ③学校図書館教育の充実 ④生徒指導・教育相談の充実	課題 ●思いを表現する力の向上 ●豊かな心の育成
(3) たくましく生きる力を養う ①体力向上と健康教育の充実 ②幼保小中の連携・一貫教育の充実	

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	B	○学校経営方針を基に、全教職員の経営参画を推進することができた。 ●校務分掌組織をより一層有効に活用した学校運営の推進。
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	B	○「国語科の書く力の向上」をテーマに、自分の思いや考えを適切に文章に表すことができる児童の育成が図れた。 ●授業力向上に向けた研修の充実と、業前時間の有効活用。
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	○毎月の安全点検に基づき、校内施設の修繕、整備が図った。また、予防を中心とした保健衛生管理に努めた。 ●危機管理マニュアルに基づく対応の共通理解と実行。
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	A	○個人情報管理マニュアルを基に共通理解を図り、個人情報の適切な管理が図れた。 ●複数の目による、日常的で適切な施設設備管理の推進と更なる個人情報管理
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校評議員制度の活用 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	B	○授業参観等、地域・保護者の方が来校する機会を適切に設けると共に、ホームページの充実を図り、教育活動の積極的な公開に努めた。 ●地域との連携の一層の推進。
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 保目指す子ども像の実現に向けた取組 教育課程の編成 一貫教育推進のための組織づくり 	A	○合同研修会、乗り入れ授業、児童・生徒の交流、幼児・児童の交流など、多様な取組と研究実践発表会を行い充実できた。 ●各取組の内容の一層の充実と改善。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程の編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○P D C Aサイクルに基づき、年間指導計画の改善を図った。教育課程説明会の報告を実施し、共通理解を図った。 ●主体的、対話的で深い学びの充実。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 わかる授業づくり 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○P D C Aサイクルに基づき、学力向上プランの改善を図った。また「草加っ子の学びを支える授業の5カ条」を基にした授業改善を図った。 ●新学習指導要領に向けた授業改善。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域とも連携し、全教育活動を通じて道徳教育を実施することができた。 ●考え、議論する道徳に向けた授業改善
	④外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解教育の一環として全学年で担任とA L Tによる外国語活動の授業を計画的に実施した。 ●新学習指導要領に基づいた授業改善
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア学級での活動や委員会活動の発表等により、自主的・自発的な活動を充実させることができた。 ●新学習指導要領に基づいた授業改善。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画を明確にすることで、児童が興味関心に応じて学習を主体的に進めることができ、学習活動が充実した。 ●移行期間後の指導計画の工夫。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会を軸に、全職員による共通理解が図られ、問題行動や不登校児童の対応が効果的に実施できた。 ●地域、関係機関との連携の推進。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校との連携、外部講師の招聘や校外学習等を通じた体験活動の実施等、取組を充実させることができた。 ●各取組の一層の充実、改善。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、指導方法等の共通理解が図れた。 ●児童の実態に応じた効果的な指導法の充実・改善。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○本の紹介、朝読書、学校応援団による読み聞かせ等、読書活動を充実させることができた。 ●各取組の一層の充実、改善。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 I C T機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○機器活用に関する校内研修を実施すると共に、I C T支援員を活用し学習活動の充実が図れた。 ●情報モラル教育の一層の充実。

⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<p>○人権感覚育成プログラム活用のための校内研修を実施すると共に、人権週間に高学年が「めぐみ」の視聴、代表委員児童によるいじめ防止啓発集会等、人権感覚の育成を図ることができた。</p> <p>●人権感覚の育成に向けた、校内人権週間の一層の充実。</p>
-------	--	---	---

(様式1・小学校用③)

草加市立八幡北小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材活用 ・体験活動の充実 	A	<p>○外部講師の招聘や校外学習等を通じた体験活動の実施、八北学校ファームでの農業体験活動等、取組を充実させることができた。</p> <p>●各取組の一層の充実、改善。</p>
	②学力、体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の徹底 ・学力向上のための指導法の工夫 ・体育の授業の充実 	B	<p>○算数タイムに加え、カキカキタイムも実施し、校内研修を軸として「書く力」の向上に努めたことにより、書く力の向上が図れた。</p> <p>●児童一人一人の学力の定着へ基礎基本の確実な定着を図る。</p>
	③「一人一人を大切に、信頼関係に立った生徒指導の充実」	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解・共通行動で組織対応する生徒指導 ・一人一人によりそい信頼関係に立った生徒指導 	B	<p>○業前スポーツタイムや本校独自の「八北体操」の実施により、体力向上に努めることができた。</p> <p>●新体力テストの結果分析による児童理解及び指導改善。</p>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

本校は、「なかよく かしこく たくましく」の教育目標のもと、豊かな心、確かな学力、健やかな体づくりにむけ、学習規律の徹底と学習指導の充実、国語教育の充実、道徳教育の充実、人権教育の充実、学校図書館教育の充実、生徒指導・教育相談の充実、体力向上と健康教育の充実、幼保小中の連携・一貫教育の充実に取り組んできた。

学校関係者評価では、「わかりやすく工夫した授業や丁寧な指導」「児童の相談への適切な対応」「保護者・地域の願いへの対応」「体力向上や健康に留意する態度の育成」「安全面の配慮」等について成果を上げていると評価され、児童が学校に行くのを楽しみにしていると捉えられている。

今後も、今年度の教育活動を基盤とし、児童のよりよい成長に向け、全教職員が一丸となり、教育活動の充実・発展を図っていく。

6 次年度の改善策

- 学校教育目標の具現化にむけ、PDCAサイクルに基づき、次のように改善を図っていく。
- ・家庭、地域との連携をさらに強固なものとし、地域・学校・家庭が一体となった教育の実施。
 - ・児童一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな指導、わかる授業の実施のために授業改善を行い、基礎基本の確実な定着を図り、児童の確かな学力を育成する。
 - ・不登校傾向にある児童への対応、配慮を要する児童への対応を全職員で共通理解し、外部機関とも連携を図りながら、組織的な対応をしていく。
 - ・豊かな心の醸成に向け、「考え、議論する道徳」授業の実践に向けた研修を行う。